

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第5回 創徳中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年1月10日(金) 19:00 ~ 20:00

2 場 所 会議室

3 あいさつ(委員長、学校長)

4 協議内容

(1) 本校教育活動について【学校長より】

・学校通信に2学期のようすを掲載させていただいた。10月に行われた文化祭の合唱コンクールがすばらしく、特に3年生の取組や発表には感動した。保護者の方からも感動したという意見をたくさんいただいた。卒業式もすばらしい式歌を期待しており、参加される委員の皆様も楽しみにしていただければと思う。

(文化祭の動画視聴)

・3年生は出願も終わり、いよいよ入試が始まる。入試に向けて冬休み中や放課後に面接練習を行っている。意欲的な生徒は、普段接している3年生の先生ではなく、入試の緊張感になれる意味で、私のところへ来て面接練習に取り組んでいる。

(2) 生徒・保護者アンケートについて【教務より】

(資料に基づいて、説明)

○非認知能力にかかるアンケート「私は今の自分に満足している」の設問について満足してはいけないのではないか。満足してしまうと人間は成長がとまる。

○生徒アンケートについて、1年から2年、2年から3年と数値が上がっているのは、先生方の努力の結果だと思う。

○非認知能力やりぬく力の1年生が1学期より2学期下がっている。思い通りにいかなかったのか、理想と現実のギャップなのか。

○アンケートだけでは難しいが、指標がないと振り返りが難しい。

○1年から2年、2年から3年と数値が上がっているのは、学年の差なのか毎年そうなのか、経年変化があればわかりやすい。

○不登校の変化は。

→鈴鹿市において不登校の増加率は鈍化している。上り幅は収まってきている。小学校ではホットルーム、本校ではサポート教室がある。県としても来年度からみえ四葉ヶ咲中学校を設立し、不登校への対応していく。定員が50名程度なのでカバーしきれないが、徐々に増やしていく起点となる。

○やりぬく力・自制心は学校や家庭でどのように高められるか。

→集団スポーツをすれば身につくのではない。ラグビーでもそれぞれのポジションでの役割がある、そういう意味でも部活動の意義も大きい。

→すべて学校が育むものではない。親子関係や地域の中など、みんなで育んでいくものである。

○保護者アンケート「学校と地域が連携した取組が行われている」が90%肯定回答で、各地区の祭りなどに合唱部や吹奏楽部の生徒が演奏していただいてみんな喜んでいる。

○保護者アンケート「学校は、防災や防犯、事故防止によく配慮している」が96%肯定回答していただいているが、地域での自転車の登下校の様子を教えてください。

→ずっとは見えていないが、しっかりとあいさつする。危険な運転はない。でも交差点でぶつかったことがある。

→あいさつ運動で立っているとき、雨の日は傘をさしていると私たちが邪魔なのでささないでこうなど話をしている。

→5、6年前ぶつかったとき、ヘルメットの上にカッパをかぶっていて前が見えにくくなっていたようだ。

5 教育委員会より

ラジオ体操、フェスティバルなどコロナで少なくなっていたが、地域のつながりをつくってこうと復活している地域がある。子どもが客ではなく主役になれるような場所も与えていこうと活動している地域もある。スポーツ、社会体育を地域でやっているところもある。

今日の話し合いのように子どもの状況を意見交流してから、少しずつ何をしたらいいか考えていけたらいいと思う。また、評価表に書いてもらえるとありがたいです。

6 その他

○連絡事項

- ・コミュニティ・スクールに関する意識調査について

○次回 令和7年2月14日(金) 19:00～ 創徳中学校 会議室